

第 1592 回 天文学教室談話会

2016 年 5 月 31 日 (火) 16:30 より

東京大学理学部 1 号館西棟 11 階 1109 号室 (天文学専攻会議室) にて

“TESS に向けた研究戦略”

成田憲保 (天文学教室)

Kepler の後継機として 2017 年に打ち上げられる予定となっている NASA のトランジットサーベイ衛星 TESS (Transiting Exoplanet Survey Satellite) は、ほぼ全天の太陽系近傍にあるトランジット惑星候補を発見することを目的としたミッションである。TESS は public telescope として惑星候補カタログを世界に公開する予定であるため、世界の多くのチームがフォローアップ観測に興味を示している。この TESS のフォローアップ観測において世界の他のチームに対して優位に立つためには、公開された惑星候補の中からいち早く本物の惑星を確認することが重要となる。そこで我々は 2013 年から岡山 188cm 望遠鏡用に 3 色同時撮像カメラ MuSCAT を開発してきた。さらに TESS の打ち上げ前の完成を目指して、スペイン・カナリア諸島の TCS1.5m 望遠鏡用に MuSCAT2 を開発している。本談話会では、TESS の最新情報と共に、TESS に向けたこれまでの研究とこれからの研究戦略を紹介する。